



小牧市まちづくり推進計画

第2次基本計画

概要版



市長あいさつ

世界的にも高水準で推移する高齢化率、想定を上回るスピードで進む少子化、変化の激しい社会経済情勢等、先行き不透明な時代においては、自らがフロントランナーとなる気概を持ち、未来を切り拓くための「チャレンジ」を続けなければなりません。

私は、これまで「改革と創造の市政」、「チャレンジする市政」を掲げ、未来を見据えた様々な改革と小牧市の明るい未来につながる新たなチャレンジに全力を注ぎ、信念とスピード感を持って市政を運営してまいりました。

「小牧市まちづくり推進計画」は、私のもと、小牧市が続けてきた「チャレンジ」を具現化したもので、いくつかの特徴を持っています。

第一に、「基本構想に相当するものとして市民憲章を位置づけ、基本計画は市長が定める。」というものです。基本構想は昭和60年に制定した「小牧市民憲章」にその役割を持たせ、基本計画は平成27年に制定した「小牧市自治基本条例」において、「市長が基本計画を定め、議会は計画に基づいた予算を議決する」ことを明文化しました。

第二に、計画の構成として、市長マニフェストを落とし込み優先的に経営資源を投入する「市政戦略編」と、行政が着実に実施する「分野別計画編」とに分けることで、限りある経営資源をどのように配分するのかを明確にしました。

第三に、市長マニフェストを計画に落とし込むため、4年ごとの市長任期にあわせて見直すこととしました。

これらの特徴を持つ「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」は、第1次基本計画で掲げた3つの都市ヴィジョンを承継し、SDGsやダイバーシティの考えも包含するとともに、DXの推進やカーボンニュートラルの実現など、時代の潮流に対応すべく新たな視点を加えた計画としました。

今後はこの新しい計画のもと、「こどもが夢を育み、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して暮らせる、持続可能で、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」の実現に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたってご尽力を賜りました小牧市まちづくり推進計画審議会委員の皆様、市議会議員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様深く感謝申し上げます。



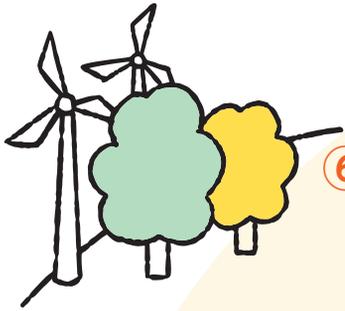
令和6年3月

小牧市長 山下 史守朗

これまでの計画等の変遷



横断的視点



⑥カーボンニュートラルの実現

市民、事業者等の取組を促進するとともに、施策全般による取組を通じて、持続可能なまちの実現に取り組みます。

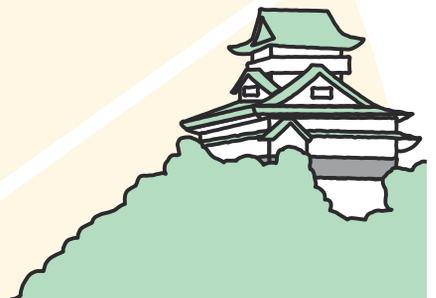
①SDGsの推進

「誰一人取り残さない」社会の実現を共通言語として位置づけ、組織横断的に17の目標の達成に取り組みます。



⑤DXの推進

誰もがデジタル化の恩恵などを享受できる状態を創出し、市民が「豊かさ」を実感できるまちの実現に取り組みます。



②都市ブランド戦略の推進

「子育てしやすいまち」と「史跡小牧山」をブランドの柱とし、魅力あるまちの実現に取り組みます。



④ダイバーシティの実現

すべての市民が共生できるまちの実現に取り組みます。

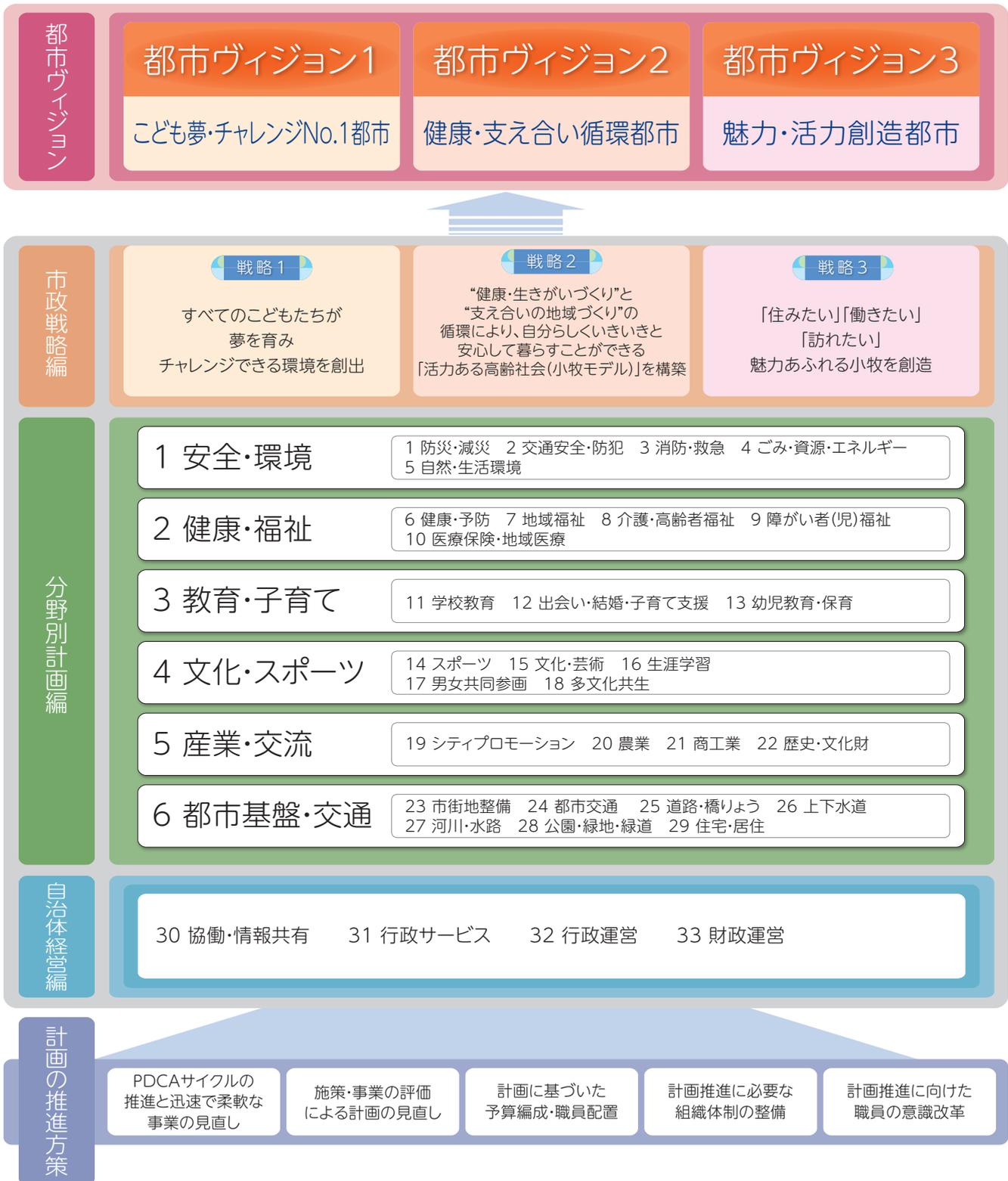


③人口減少・少子高齢化への対応

雇用の創出、子育て環境の整備、都市の活性化などにより地方創生のより一層の充実・強化に取り組みます。



施策の体系



小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画

発行年月：令和6年3月

発行：小牧市

編集：小牧市市長公室秘書政策課 〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL：0568-76-1105（直通） FAX：0568-71-3138

Mail：hishoseisaku@city.komaki.lg.jp



都市ビジョン1 こども夢・チャレンジNo.1 都市

夢やチャレンジの象徴であり、次代の地域を担う子どもたちの様々なチャレンジを地域全体で応援することで、すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまちづくりへとつなげる『こども夢・チャレンジNo.1 都市』を目指します。



戦略1 すべての子どもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

- 重点事業 1-1** こまきこども未来大学の開催
学習支援事業『駒来塾』の開催
新たな進学支援制度の創設
- 重点事業 1-2** 子育てに関する様々な相談体制の強化
0歳児から2歳児までの保育料無償化
学校給食費の恒久的無償化の対象拡大
- 重点事業 1-3** 1人1台タブレットの更新
米野小学校の改築
新たな学校づくり推進計画の策定



小牧南小学校

都市ビジョン2 健康・支え合い循環都市

スポーツを通じた健康増進を図り、様々な学びを通じて、より豊かな自分らしい人生を送ることができるようにするとともに、市民が様々な場面で主体的に活躍できる環境づくりを進めます。

そして、市民活動や地域自治の充実拡大を通じて「暮らしの安心」を支える地域での支え合い助け合い活動を促進することにより、高齢者をはじめ、市民が安心して暮らし続けることのできる『健康・支え合い循環都市』を目指します。



戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことのできる「活力ある高齢社会（小牧モデル）」を構築

- 重点事業 2-1** 運動のきっかけづくり、スポーツ施設の利用促進
新たなフレイル予防の拠点整備
- 重点事業 2-2** 生涯学習環境の充実
ボランティアマッチングの仕組みの構築
- 重点事業 2-3** 地域協議会の活動支援
こまきいきいきポイント制度の活性化
プレミアム商品券の有効活用



見守り活動



都市ビジョン3 魅力・活力創造都市

本格的な人口減少時代に突入し、このまま若い世代が減り続ければ、まちの活力が失われてしまいます。そこで、若い世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めることにより地域活性化を図っていきます。

そして、地域経済を支援し、バランスの良い産業集積を今後も持続的に高めることにより、経済・雇用・財政の基盤が確立された、将来にわたって輝き続ける『魅力・活力創造都市』を目指します。



戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

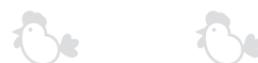
- 重点事業 3-1** 小牧市の魅力を伝える動画の配信
ふるさと納税のPR
- 重点事業 3-2** 中心市街地のにぎわい創出
民間活力を導入した小牧山東公園の整備
史跡小牧山の整備と魅力発信
- 重点事業 3-3** 地域住民と連携した『東部振興構想』の実現
- 重点事業 3-4** 『企業新展開支援プログラム』を通じた支援強化
地場産品の創出支援



青空カフェ



小牧山石垣整備





自治体経営編

小牧市自治基本条例の理念をもとに、限りある経営資源を無駄なく最適に配分しながら、市民や民間との協働によるまちづくりを推進し、デジタル技術等を効果的に活用することで利便性の高い行政サービスを提供し、時代の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら将来にわたり持続可能な自治体経営を目指します。

1 協働・情報共有

ワクティブこまきにおける支援体制の強化

区長事務の負担軽減

スマホ教室の開催



2 行政サービス

窓口業務の改善

多様なPPP/PFI手法の導入



自治体経営編

3 行政運営

ワーク・ライフ・バランスの推進

ハラスメント防止・相談体制の強化

デジタルを活用した政策立案の推進



4 財政運営

自主財源の確保・充実

経常的経費の削減

公共施設の適正配置と長寿命化

